



市役所に花を生ける(常葉中学校華道部)



小学生運動会(馬堀小学校)

輝け! よこすかの 子どもたち

第14号
-2018.10-



中学校総合体育大会開会式
(横須賀総合高等学校ダンス部模範演技)



ウインドサーフィン体験学習
(津久井小学校)

横須賀市の学校教育

横須賀版キッズウィーク

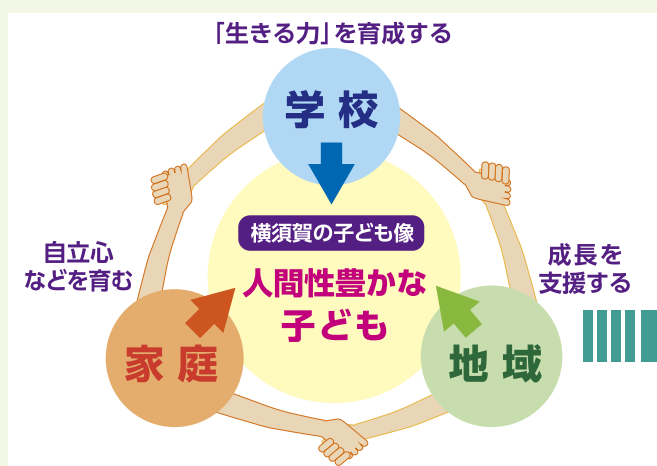


平成30年 10月20日(土)～ 11月4日(日)

子どもの健やかな成長をみんなで支える

横須賀市教育委員会では、『人間性豊かな子ども』の育成のために、目指す教育の姿として、『学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすと共に、一体となって子どもを育んでいく』ということを掲げています。未来を担っていく子ども達を健全に、心豊かに育んでいくためには、地域社会全体での協力が必要です。

目指す子ども教育の姿



学校・地域・家庭が、それぞれの役割を果たすとともに、信頼し、協力しながら、横須賀の子どもを育てている姿を目指します。



【地域の力】
ウインドサーフィンワールドカップ会場にて、本物のウインドサーフィンに触れ、風の力の強さを体感する津久井小学校の児童たち

キッズウィークとは？

キッズウィークとは内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省等で推進する事業です。

内容は、地域ごとに夏休みなどの学校の長期休業日から、一部の休業日を他の日に移して休業日を分散化して、学校が休みとなった日に保護者等に有給休暇の取得を促進し、休日における多様な活動機会の確保をするなどの取組を官民一体として推進していくものです。

横須賀版とは？

横須賀市の実態に合わせて、新たな休日を設定せずに、期間を長くすることで、無理のない形で保護者が、子どもと向き合えるような時間を確保できるようにしています。目的は、家族と共に地域で過ごす時間を大切にする事です。

※なお、可能な範囲で、学校の代休日などに保護者の方にも休んでいただき、子どもと共に過ごすことを意識してほしいというものです。

横須賀版キッズウィークについては、裏表紙にも記載がありますので、ご覧ください。

キッズウィーク期間中のイベントなど

👤マークは体験活動ができるイベントです。

10月20日(土)	★ 衣笠商店街(大通り商店街・仲通り商店街) ★ 坂本商友会(坂本町表通り) ★ 大津おりょうさん通り商店街(大津駅周辺) ★ 浦賀商友会(浦賀コミュニティ広場周辺)	 ハロウィンイベント ◎ パレード参加の子ども対象に お菓子のプレゼントをしている イベントもあります ◎ 時間帯等 詳細は横須賀市の ホームページでチェックできます ※期間中、仮装姿での フォトコンテストも実施中
10月21日(日)	★ 久里浜商店会(はろーど通り) ★ 北久里浜商店街(根岸交通公園)	
10月27日(土)	★ 横須賀中央エリア商店街(横須賀中央駅周辺) ★ ドブ板通り商店街(ドブ板商店街イベント広場) ★ 上町商店街連合会(上町大通り・博物館)	
10月28日(日)	★ 追浜商盛会・追浜銀座通り商店会・追浜観光協会 ★ ソレイユの丘:ハッピーハロウィン仮装パレード(10月中は他にもイベントあり)	



10月20日(土)	 按針フェスタ2018 しょうぶ園フェア 👤電力中央研究所公開 👤体育室で遊ぼう! 第4回うみかぜストリートカフェ	逸見(四つ角交差点~鹿島神社前・浄土寺) 横須賀しょうぶ園 電力中央研究所(長坂) 池上みんなの家 リヴィンよこすか ハウジングプラザ周辺
10月20日(土)・21日(日)	「よこすかパンまつりinヴェルニー公園」 北久里浜秋祭り&ハロウィンフェスティバル	ヴェルニー公園(いこいの広場) 根岸公園・根岸第三公園
10月22日(月)	👤どんぐり探偵団・どんぐりで作ろう	衣笠山公園・わんぱく広場周辺(小低学年以下対象)
10月24日(水)	👤体育室で遊ぼう! 👤マンカラチャレンジ!(アフリカの遊びに挑戦) 👤キラキラボトルをつくろう	森崎みんなの家 鴨居みんなの家 久里浜みんなの家
10月25日(木)	👤親子手作り体験	青少年会館3階ホール
10月27日(土)	👤絵本作家はたこうしろうさんと絵本を作ってあそぼう 「読書の秋×音楽の秋~落ち葉の季節の演奏会~」 👤プラ板作りをしよう! 👤プラ板で作ってみよう!	児童図書館 中央図書館 衣笠みんなの家 大津みんなの家
10月27日(土)・28日(日)	コスモスマつり:コスモスの花摘み等	くりはま花の国
10月28日(日)	第42回よこすかみこしパレード 2018 Yフェスタ追浜 👤わんぱくフェスティバル 天神島の地層・天神島ガイドツアー	横須賀中央大通り・米海軍横須賀基地クレメント通り 駅前広場・日産総合グランド・アイクル会場 神奈川県立保健福祉大学 天神島臨海自然教育園(定員制・参加費) ☆景品有
10月29日(月)	文化財整理室公開DAY 親子紙芝居・親子映画会	文化財整理室(市立横須賀総合高等学校内) 生涯学習センター
11月3日(祝・土)	👤第13回1万メートルプロムナードウォーク 観音崎フェスタ 横須賀美術館無料観覧	ヴェルニー公園⇒横須賀美術館 ☆参加景品有 県立観音崎公園周辺 横須賀美術館
11月3日(祝・土)・4日(日)	よこすか産業まつり 横須賀トモダチジャズ2018	三笠公園(子ども・子ども連れ大人 抽選会チャンス+1回) ドブ板通り商店街イベント広場
11月4日(日)	Yokosuka Sunday Street 2018 autumn	横須賀中央「リドル横須賀」横



※このほかに横須賀美術館・中央図書館・横須賀市自然史博物館で子ども向けの催し物を行っています。

【横須賀版キッズウィーク期間中の市内の主なサービス】

★市内の温水プールでは、指定日に限り(北体育会館29日・くりはま花の国29日・佐島の丘22日)、大人(高校生以上)1人に小人(中学生以下)2名まで、小人料金無料になります。

※17:00以降の入場に関しては、小学2年生以下に同伴する保護者は成人に限りです。

★11月3・4日の猿島入園料及び猿島への往復渡船料金は、中学生以下無料です。

★記念艦「みかさ」では観覧料中学生以下無料、期間中横須賀市民は、大人(複数名に限り)半額です。

他にも、家族や子ども対象のサービスがあります。詳しくは、横須賀市のホームページでチェックできます。

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/kidsweek.html>



学びの系統性・連続性を重視した教育の充実

小中一貫教育の充実

横須賀市では、平成28年度から、すべての市立小中学校で、『小中一貫教育』に取り組んでいます。

小中一貫教育とは

小中学校が、子どもや地域の実態をもとに、指導の在り方や具体的な教育活動を協働して考え、計画・実施・検証していくことにより、義務教育の9年間の学びの系統性・連続性を重視した教育の充実を図るものです。

※横須賀市が進めていく『小中一貫教育』は、小学生と中学生が、同じ校舎で学校生活を送る施設一体型のものではありません。



子どもの
学びを豊か
にします

異学年との交流が育む豊かな人間性

公郷小学校では、月に一度校門の前で、公郷中学校と県立横須賀工業高等学校、県立横須賀高等学校の生徒たちが、あいさつ運動をしています。

制服を着た中学生や高校生のお兄さん、お姉さんから、「おはようございます」と声を掛けられ、小学生も照れくさそうに嬉しそうに「おはようございます」と返事をします。お互いに、心通うさわやかなあいさつで、一日がスタートします。



鴨居中学校、鴨居小学校、鴨居幼稚園、及び近隣の鴨居保育園では、合同の避難訓練を実施しています。海が近い学区なので、地震による津波の被害を想定し、学校外の坂道を上り高台への避難を行います。中学生は幼稚園児の手をとり、園児が転ばないように、歩く歩幅にも気を付けながら、一緒に避難場所へと向かいます。小学生は、そんな中学生の姿を見ながら、幼稚園児のお手本となるよう行動します。幼稚園児は小学生・中学生を、小学生は中学生を見て、自分たちのなるべき姿を学びます。中学生は自身の成長を実感します。



高校と大学の連携の充実

本年4月に『横須賀市と関東学院大学との連携及び協力に関する協定』を締結しました。これにより、関東学院大学の先生に、横須賀総合高等学校の授業への協力を頂くなどの取組が、今まで以上に充実することが期待されます。

何のために学ぶのか

横須賀総合高等学校 1学年『産業社会と人間』5月7日(月)
関東学院大学学長・副学長によるパネルディスカッション

「大学の学びは社会でどのように生かされるのか!」

ご登壇頂いたのは、関東学院大学の規矩 大義(さくひろよし)学長と小山 厳也(こやまよしなり)副学長、及び各先生方のゼミを卒業した社会人の安田 悟(やすださとる)さん、阿部 真里奈(あべまりな)さんのお二人です。それぞれの立場から、高校生の進路に向けての不安や悩みに対し、具体的でわかりやすい話と共に、温かいメッセージをいただきました。また規矩学長からは、高校生たちからの事前の質問で、当日答えきれなかったものに対しても、**一つ一つ丁寧な回答**を頂きました。

- 大学で学ぶ価値、それを見いだすために大学で学んでほしい。(規矩学長)
- 色々なことにチャレンジしてほしい。(安田さん)
- 様々な人と話をして自分の世界を広げてほしい。(小山副学長)
- 学生時代は自分のために時間が使える貴重な時。今の環境の中で、精一杯頑張ってください。(阿部さん)



左から 規矩学長、安田さん、小山副学長、阿部さん

高校生たちは、登壇者の言葉に真剣に耳を傾けていました。

将来の社会の変化に対する不安と、その中でどう自分自身の進路を見いだしていくべきかということに対し、真剣に考えることのきっかけとなる授業でした。

一部紹介

規矩学長からのメッセージ

Q. 高校で学んで役立つことは?

A. 基礎的な学力は絶対に必要です。限られた科目だけでなく、すべての科目の知識は生活していく上で人生を豊かにします。あとは集団の中で自分を確立し、きちんとした距離感を持って人と付き合える力は重要だと思います。

Q. 目標を実現させるために何をがんばりましたか?

A. 目標をいつも見ていたかどうかは分かりません。それでも与えられた環境で精一杯頑張ろうとしたと思います。しかし、そこに至るまでには色々な紆余曲折があって当然だと思います。

Q. どの職業にも必要なことは?

A. 情熱、好奇心、自信、謙虚さ、実直さでしょうか。

子どもの学びを豊かにするために

体験を通した深い学びの実現

サイエンスサマー 2018



昆虫について、実際の標本を使った先生の説明に、身乗り出して、見ている参加児童たち

7月27日(金)〈教育研究所〉

毎年夏休み期間中の1日、教育研究所で教育委員会主催の『サイエンスサマー』が開催されています。対象は参加を希望する市内の小学校の中学年以上の児童です。参加者は、いくつかのブースに分かれ、それぞれのブースのテーマに合わせて、実験したり、観察したりしながら、自分で試行錯誤し、理科を楽しく学んでいきます。指導に当たるのは、理科教育を研究している市立小学校の先生方です。楽しくわかりやすく丁寧に指導し、最終的には子どもたち自身が問題を解決できるように学びを支えてくれます。「もっと調べてみたい」という気持ちが夏休みの自由研究にもつながります。

『百聞は一見に如かず』

防災教育 3年修学旅行『陸前高田市』

浦賀中学校では、平成28年から、教育委員会から研究依託を受け総合的な学習の時間を中心として、防災教育に取り組んでいます。現3年生は、1年生から段階を経て、防災についての学びを深めてきました。その集大成ともいえる修学旅行は、東北大震災での被災地『陸前高田市』での民泊でした。



生徒たちへの歓迎のあいさつとともに、ご自身の震災当時のつらい体験を講話してくださった 陸前高田市 戸羽太市長

5月15日(火)~17日(木)〈浦賀中学校〉



被害にあった道の駅で震災当時の様子を語る地元の方の説明に、メモをする中学生たち

事前に2年間をかけて学んできた事柄と、実際に被災地に行き、現場を見て、地元の方から話を伺うことでしか得られない実感というギャップは、生徒たちの心を大きく揺さぶったようです。この深く心に刻まれた学びこそが、日常での防災意識に繋がり、生徒たちのたくましく生きる力となっていきます。

一人一人にあった居場所を考える

不登校をともに考える会

6月23日(土)に、総合福祉会館〔第一音楽室〕において、「不登校をともに考える会～ハートフルフォーラム～」を開催しました。



3年前のこの会でご自身の不登校体験について語ってくれたイラストレーターの「はるの ほたる」さんが、パンフレットのデザインを担当しました。『自分の目で輝く未来を覗いている』そんな姿の少女の絵からは、自分らしい生き方を探す希望に満ちたメッセージが伝わります。

【内容】

① 市内登校支援機関の紹介

- ・教育委員会教育相談
- ・相談教室
- ・市内フリースクール
(アンガージュマンよこすか、湘南国際)

② 不登校体験談

(過去に不登校だった先輩より)

③ 個別相談



会場には、市内の相談教室やフリースクールから、日頃の活動を紹介するコーナーなどが設けられ、素晴らしい作品の数々が展示されていました。

【不登校体験】

小学校4年生から教室に入ることが怖くなり、その後不登校になりましたが幼い時に観た映画のロケ地となった校舎に感銘を受け、12歳の時に父が買ってくれた写真集をきっかけに、全国の木造校舎の撮影を始めました。一つとして同じデザインの無い、その時代の建築の流行をたまたまの佇まいに魅力を感じました。私にとって不登校は無意味ではありませんでした。悩み苦しんだことに意味がありました。皆さんも今がだめでも明日がある、希望の光は目の前にあると信じてください。私は多くの人の支えにより再び自分の足で歩けるようになり、今では自分らしく生きています。どうか皆さんも一度きりの人生を楽しんでほしいです。



『夢 木造校舎と私』

角皆 尚宏さん (木造校舎カメラマン)

12歳の時から木造校舎の魅力に引きつけられ、日本全国を巡り、1,000校以上の木造校舎の写真を撮影



横須賀版

キッズウィーク

10月20日(土)～11月4日(日)

子どもと楽しむ横須賀の休日

横須賀版キッズウィークとは

大人が子どもと共に地域で過ごす時間を大切にすることを趣旨として、本年度から横須賀市で実施するものです。期間中は、普段なかなか子どもとの時間が取れない保護者の皆様も、いつもより少しだけ子どもと向き合う時間を大切にすることを意識してはいかがでしょうか。子どもの健やかな成長にとって、家族との時間を過ごすことは大変意義深いものです。

この機会に、子どもたちが家族や地域の大人との温かいふれあいの時間を過ごしたり、様々な体験活動に参加したりすることを通して、健やかな成長につながることを期待しています。

横須賀版キッズウィーク協議会

- ◆ 横須賀市教育委員会 ◆ 横須賀商工会議所
- ◆ 横須賀市政策推進部 ◆ 横須賀商店街連合会
- ◆ 横須賀市こども育成部 ◆ 横須賀市PTA協議会
- ◆ 横須賀市経済部 ◆ 市立小中学校長会・高等学校長



《編集・発行責任者》

横須賀市教育委員会事務局

教育総務部 教育政策課

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

TEL: 046-822-9709

FAX: 046-822-6849

E-mail: sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

◇この冊子についてのご意見や感想をお寄せください。

